

令和7年4月24日（木）

「元気な声と笑顔があふれる学校」を目指して



ないとうしんいちろう

稲沢北小学校長 内藤 伸一郎

春の暖かな日差しが溢れる4月8日（火）、保護者、5・6年生、教職員に見守られる中、令和7年度入学式が執り行われました。新1年生43名の子どもたちは、どの子も背筋をピンとさせ、少し緊張した面持ちで式に臨み、自分の名前が呼ばれると、元気な声で「はい！」と返事をしてくれました。令和7年度は、14学級、314名でのスタートでした。

本校では、今年度も「元気な声と笑顔があふれる学校」を目指し、「明るく、元気で、自分の考えをもち、自他を大切にできる児童」の育成を目指して教育活動を進めてまいります。

入学式や9日（水）の始業式では、子どもたちに「あいさつ」を元気にしよう、という話をしました。朝、元気に「あいさつ」を交わせば、一日のスタートが気分よく始まります。下校時も、元気に「あいさつ」を交わせば、明日もまた学校に行こう、という意欲がわきます。もう一つ、笑顔で挨拶ができれば、なお気分がよくなります。一年間、「あいさつ」を通して、元気な声を響かせていきたいと考えています。

4月14日（月）の朝礼では、一学期学級委員の認証式を行いました。学級委員として認証された子どもたちは、どの子も自分の名前が呼ばれた時、元気な声で「はい」と返事ができていました。これも、日頃から担任の先生達が子どもたちと「挨拶や返事をしっかりやろう」と意思統一してくれているお陰です。認証された学級委員を中心に、みんなで助け合って学級目標の実現に努力してほしい、と願っています。

地域や保護者の皆様には、日頃から温かいまなざしで子どもたちを見守っていただいております。これからも、稲北っ子の成長を支えていただけたらと思います。私たち教職員も、子どもたちに寄り添い、共に考えることを大切にしたいと思います。

今後とも稲沢北小学校の教育活動に対しまして、これまでと変わらぬご支援・ご協力を賜りますことをお願い申し上げます。